

- 1 課題名 漁場長期予報 さきどり！
- 2 区分 県単
- 3 期間 平成20年～平成24年
- 4 担当 資源海洋部（御所豊穂・安江尚孝・芳養晴雄・竹内照文）
- 5 目的  
数ヶ月先の海況とカツオ漁場および、シラス漁場別漁獲量の予測を行うためのモデルを構築する。

6 成果の要約

1) 方法

- (1) 数値海流予測システムJCOPEを用いて、和歌山県周辺海域の海況予測と情報提供についての検討を行った。
- (2) 3隻のカツオひき縄船（すさみ、和深、橋杭、各1隻）に自動記録式水温計を設置し、またハンディGPSの操作と漁獲時刻の記帳を依頼し、操業航路と漁場の水温について調査を行った。
- (3) ひき縄船を備船し、カツオの標識放流を行った。

2) 成果の要約

- (1) まき網漁業者からの要望に応え、紀伊水道外域と潮岬沿岸の6点について予測海況を水深別に数値データで表示し、携帯電話で閲覧可能なサイトを作成した（図1）。

すさみ漁港からも出漁していた。

- (3) 2009年9月30日に放流したカツオが11月2日に34°55' N, 139°33' Eで再捕され、尾叉長はほとんど変わっていなかった（図2左）。また、2010年5月3日に23°50' N, 141°30' Eで再捕され、尾叉長が7.5cm増加していた（図2右）。

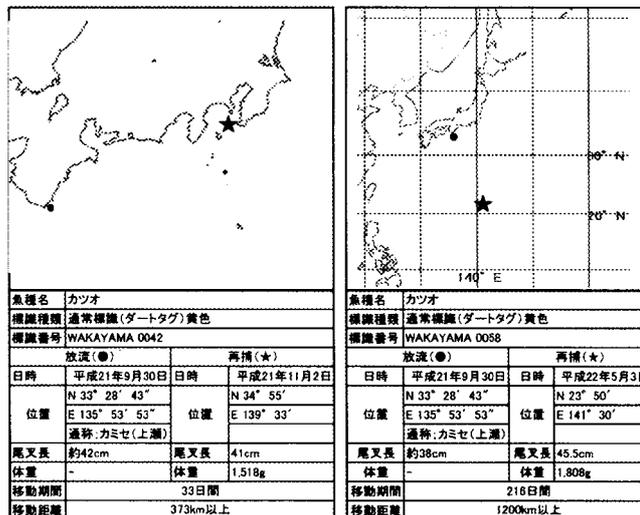


図2 カツオ標識放流の結果。2個体の再捕があった。

7 成果の取り扱い

1) 成果の普及

成果報告会（2010年2月12日）、ひき縄漁業者説明会（2009年6月1、2日、田辺市、串本町）。漁業者や漁協の依頼に応じて普及を行った。携帯電話のサイトはまき網漁業者に対して説明を行い、利用と検証への協力を依頼した。

2) 成果の発表

第7回JAFIC漁業情報研究会で発表を行った。

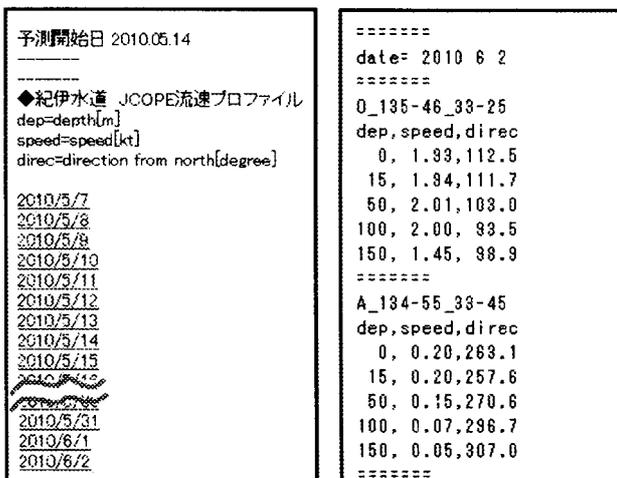


図1 まき網漁場情報携帯サイト。2010年5月14日に予測計算した結果を、日ごとに選択して閲覧する画面（左）。選択した日（6月2日）の地点別、水深別の流速、流向（右）。

- (2) 2010年にカツオがまとめて漁獲されたときの主漁場は、2月は13,14日で黒潮南側の19.4～19.7℃の海域、3月は23,24日で沿岸域の17～18.5℃の低水温の水域であった。漁獲の集中する時間帯は6:00～7:00台および11:00前後で、それ以外にも散発的に漁獲があった。3,4月の漁場は熊野灘に形成されることが多く、潮岬西側の